



立趣旨や取り組みなどに

山本会長が若手の会設

建設コンサルタント協会東北支部若手の会（山本佳和会長）復建技術コンサルタント）は17日、仙台市の戦災復興記念館で若手技術者ワールドカフェin杜の都を開催した。東北6県の会員各社の20～30代の若手社員、若手の会メンバーから48人が参加して、「スキルアップ」「イメージアップ」「働き方のワンアアップ」の3テーマについて、雑談形式でグループディスカッションを実施。東北全域に参加を拡大して、初の開催となった。

建コン協東北・若手の会 課題出し合い将来像を模索

若手技術者ワールドカフェin杜の都

ついて説明したうえで、「若手の働き方や悩みなどについて話し合ってもらいたい。決して結論を出すものではなく、ディスカッションで出てきた意見などをお互い共有して交流を図り、将来像などを模索していける場としたい」とあいさつした。

このあと、若手の会メンバーがホスト役となり各テーブル25分ずつ3回、メンバーを入れ替えてディスカッションを行い、テーマ毎に提案された意見を発表。各グルー

プからは、スキルアップについては「会社のバックアップが必要」、「柱となる技術がほしい」、「資格取得に時間がなく、危機感がある」との発言があったほか、イメージアップでは「メディアへの露出が少ない」、「会社のホームページの質に問題がある」、「働き方ワンアアップでは「ノー残業デー」は上司からの指摘で早く帰るが、仕事が終わらない」、「一番近い先輩の年代が1回以上で年齢層のバランスが悪い」などの意見があった。

山本会長は「今後は学生への出前講座やイメージアップのためのネットCMなどに取り組みたい」と語った。